

2007 年度 小委員会活動成果報告

(2008 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	建築人間工学小委員会	主 査 名：吉村 英 祐 就任年月：2004 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会	委員長名：布野 修 司 主 査 名：
設 置 期 間	2006 年 4 月 ~ 2008 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	建築設計の基本となる人間の各部寸法、動作領域、心理・生理、行動能力、安全・安心等について広く英知を集め、安全・安心・快適な生活空間のあり方を考究する。 ・2006 年度：過去 25 年間の活動をふまえて、今後の展望について広く議論する。 ・2007 年度：過去の研究会資料の収集・整理。研究会の映像記録の作成。	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有 吉村英祐(大阪工業大学) 白石光昭(小山高専) 森 一彦(大阪市立大学) 古賀紀江(前橋工科大学) 後藤義明(岡山理科大学) 齋藤芳徳(茨城大学) 佐野友紀(早稲田大学) 嶋田 拓(明野設備研究所) 武田雄二(愛知産業大学) 田中直人(摂南大学) 布田 健(建築研究所) 林田和人(早稲田大学) 増子順一(日本大学) 吉岡陽介(千葉大学) 渡辺秀俊(文化女子大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	建築人間工学基礎資料集整備 WG 目的： 建築人間工学に関連する文献リストの整備・更新 建築人間工学の役割に関するアンケート調査	
2007 年度予算	317,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	1 .
講習会	1 . 参加者数 名
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1 . 第 49 回建築人間工学研究会「建築人間工学の役割 - 黎明期から展開期へ -」(2007.7.30 開催) (資料名：同名) 参加者数 29 名 2 . 第 50 回建築人間工学研究会「建築人間工学の役割 - 理論から実践へ -」(2007.11.30 開催) (資料名：同名) 参加者数 44 名
大会研究集会	1 . 参加者数 名
対外的意見表明・パブリックコメント等	1 .
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1 . 研究会：2 回開催。前年度からの 3 回シリーズが完結し、所期の成果をあげた。なお、第 49 回は赤字決算となった。[達成度 85%] 2 . 小委員会：5 回開催予定。第 1 回からの建築人間工学研究会資料の収集と、研究会の映像記録の作成により、所期の目標を達成。[達成度 85%] 3 . WG： 2004 年度から調査収集してきた人間工学関連の約 300 の文献リストの更新 第 48 回・第 50 回研究会の参加者に対して、建築人間工学の役割に関するアンケート調査し、建築人間工学の研究に期待する知見について、企業、行政、教育者、研究者、学生などから幅広く意見を収集した。[達成度 80%]
委員会活動の問題点・課題	1 . 研究会の成果を広く一般に公表し社会に還元する手段として、また研究会の記録を残す場として、HP の充実を図ること(昨年度と同様)。 2 . 小委員会と WG のいっそうの連携をはかること。

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。